

互助会だより



干支「午」

2014年

1月号

第104号

- ◆年頭のごあいさつ ②
- ◆平成25年度第28回職員研修事業実施状況 ③
- ◆(特集)カナダ、スイス・イタリア、
北海道研修の感想文 ③
- ◆グループ保険等の募集状況について ⑧

年頭の ごあいさつ



一般財団法人愛媛県市町村職員互助会
会長 稲本 隆 壽

新年明けまして

おめでとうございます。

輝かしい平成26年の新春を寿ぎ、会員とその家族の皆様方には健やかに佳き新春をお迎えのことと存じます。

また、日頃から本会の業務運営に深いご理解とご協力を賜っておりますことにつきまして厚くお礼申し上げます。

さて、本会は、共済事業等を行う組織である財団法人として、昭和57年に発足し、公益法人の認可を受け、その後、公益法人改革により、平成25年4月1日に一般財団法人に移行いたしました。2年目を迎えることとなりました。

また、会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、逐次事業内容の充実を図り、在職中はもとより、退職後も安心して加入することができる医療給付事業など、互助会設立趣旨に沿って事業推進に努めているところでございます。

しかしながら、近年の自治体の職員数の減少

や地方公務員の給与の減額など、本会の財政や事業運営に影響を及ぼす問題も多く、公務員の福利行政を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。

このような情勢の中にあつて、本会の果たすべき役割を充分認識し、関係各位のご協力を得て、本会の円滑かつ適切な事業運営に努め、会員とその家族の皆様のご福利厚生事業発展のため、最善の努力をしなければならぬと考える次第であります。

何卒、皆様方の一層のご尽力をお願いいたしますとともに、益々のご健勝とご多幸をこころからお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



賀正



- | | |
|-------|-------------------------|
| 【会長】 | 稲本 隆壽（内子町長） |
| 【副会長】 | 大城 一郎（八幡浜市長） |
| 【副会長】 | 武田 誠一郎（今治市職員） |
| 【理事】 | 高須賀 功（東温市長） |
| 【理事】 | 和田 雅志（久万高原町職員） |
| 【理事】 | 二宮 洋之（鬼北町職員） |
| 【監事】 | 甲岡 秀文（鬼北町長） |
| 【監事】 | 志賀 仁士（今治市職員） |
| 【評議員】 | 石川 勝行（新居浜市長） |
| 【評議員】 | 青野 勝（西条市長） |
| 【評議員】 | 清水 裕（大洲市長） |
| 【評議員】 | 池田 正司（松山市職員） |
| 【評議員】 | 村上 一郎（大洲市職員） |
| 【評議員】 | 清家 新生（宇和島市職員） |
| 【評議員】 | 野田 裕久（愛媛大学法文学部教授） |
| 【評議員】 | 野中 修（元松山市職員） |
| 【評議員】 | 梶田 與一（愛媛県市町村職員年金者連盟会長） |
| 【評議員】 | 山内 定樹（愛媛県市町村職員共済組合事務局長） |

外職員二同

平成25年度 第28回職員研修事業

カナダは12人、スイス・イタリア34人、北海道13人、で催行
ニュージーランド、屋久島・沖縄等は中止

第28回を迎えた平成25年度の職員研修事業は、研修地を、カナダ、スイス・イタリア、北海道、ニュージーランド、屋久島・沖縄等として、合計5班200人を募集した結果、下表のとおり実施しました。

年々参加者が減少するなか、職員研修事業にご参加いただきご協力いただきました方々にはお礼申し上げます。なお、参加者の方からお寄せいただいた感想文を掲載しております。

平成25年度・第28回職員研修事業実施状況

研修先等	研修期間	参加者数等	備考
カナダ 1班	6月28日(金)～ 7月 4日(木)	12名(最少催行人数を下回ったが退職後1年未満者が多いので催行した。)	応募班変更希望者を含む。
スイス・イタリア 2班	8月29日(木)～ 9月 5日(木)	34名	
北海道 3班	10月 1日(火)～ 10月 5日(土)	13名(最少催行人数を下回ったが退職後1年未満者が多いので催行した。)	応募班変更希望者を含む。
ニュージーランド 4班	11月 2日(土)～ 11月 9日(土)	応募者数最少催行人数を下回ったので催行取り止め。	
屋久島・沖縄等 5班	11月12日(火)～ 11月16日(土)	応募者数最少催行人数を下回ったので催行取り止め。	

平成25年度

職員研修事業 参加者感想文



カナダ/職員研修事業1班

カナダ

1班

西予市
菊池

青邦
児子

とことんラッキーな研修となりました。諸先輩が要望していただいていたお蔭で、退職後に、この研修に参加することができたこと。参加者がこの制度を利用できた方ばかりの六組ペアという少数でもあり、アットホーム的に終始和やかに研修できたこと。

まず、成田からバンクーバーまで9時間、市内のマーケットではカラフルな野菜や果物が山と積まれ、その色の鮮やかさと、ビッグさにびっくりする。何もかもがでっかい。食べられるホオズキがあるとは知らなかった。街中の店の先の籠に溢れんばかりの花々が咲

き、給水は、車から長いホース（ジョロ）で行っている。軒から直接注ぎこむ店もあった。美しいはずだ。手入れがいき届いている。そして、路上には、タクシীর列、なんとすべて日本車。黒、白、ブルー、緑、黄色あり、カラフルな日本車がズラーと駐車している様は壮観。日本車は性能が良く一番人気らしい。

2日目は、カナディアンロッキーのレイク・ルイーズへ。100年以上の歴史あるホテルでのひととき、「ブルー・シャトウ」の名曲はここで書きあがったらしい。何億年前のジオ（断層）に囲まれた森と氷河と湖、ついでにリスも出てきた。夕食時には大雨、大風、雷まで鳴り賑やかに私達の訪問を祝ってくれた。大人気の極上ホテルでのワインは格別美味しかった。

3日目はロッキーマウンテンとコロンビア大氷原です。「絵に書いたような」という表現がピッタリあてはまる3000mの峰々に囲まれたコバルトブルーの湖、空のブルーと氷

河、湖のキラキラブルー、雄大な風景に言葉も出てこない。とにかく、スケールが大きい。コロンビア大氷原では、タイヤが私の背たけほどある雪上車に乗り、足元の氷の厚さは300mとか。信じられない。

4日目～5日目は、さあナイアガラ滝です。アメリカ滝とカナダ滝（ナイアガラ）の2つの滝がドードーと流れ、川にかかる橋の右と左が米国とカナダの国境となっている。「霧の乙女号」で滝壺に接近するが、しぶきで何も見えない。ただ頭上からシャワーを浴びている感じ。岸から進む船をながめている方がスリリングでおもしろい。滝の周辺は、常時しぶきで視界が悪いし、雨具がなくてはさぶ濡れになるが、陽がさすのでつかい虹が美しい。マイナス20℃の冬は、しぶきがヒョウとなつてふりそそぐらしい。考えるだけに寒々とする。夜は建国記念日の花火が上がり、ぎやかに美しく興を添えていただき、はしゃぎすぎて税関の恐れなおっちゃんに皆し

て叱られ、一時シユンとなった。

この研修で更にラッキーなことは天候に恵まれていたことだ。ガイドさんも嫉妬するほどの上天気だった。旅行中、何事もなく無事みんな帰ってくる事ができたこと。そして、カナダのスケールの大きさと大らかさに驚き、同時に日本の良さを再確認した研修でした。

日本旅行の添乗員さん、事務局の職員さんに感謝します。機会があれば皆さんも一度は訪れてほしいと思います。最高の思い出となりました。

カナダ

1班

宇和島市

清家シズカ

雅義

若かりし頃より憧れていたカナダは本当に本当に美しい町並み、花、雄大な山や森、神秘的な湖の素敵な国でした。

バンクーバー、レイク・ルイーズ、バンフ、ナイアガラフォールズの旅。カナディアンロッキー湖畔のホテルは、ブルーコメッツの

井上さんがこのホテルに宿泊中、着想し作った♪「森と泉に……」♪の「ブルー・シャトウ」だという事を帰国後に知り、まさしく歌のとおり景色でした。

また野生のリスや、カナダでも数が減少し遭遇する事が少なくなった熊、ブラックベアーをバスの車窓から撮影したり、コロンビア大氷原では降り立ち、ナイアガラでは船の先端で滝壺近くの爆風を浴びたりと超大自然を満喫し、大満足。

今回現地ガイドさんもびつくりする位各地で「いつもはあまり見られない」という奇跡がおき、天気も良く、最高の旅でした。本当にありがとうございました。

いつかまたこの地を踏めますように。祈。

スイス・イタリア

2班

愛南町

垣本耕一

君代美

研修旅行（8日間）は、天候に

恵まれ、透きとおった青い空と白い頂のアルプスの山々、歴史を感じるミラノの市街地やヴェネツィアの gondola 乗船、車窓からの眺めに「すごい、すごい」と道中が歓喜の私の妻でした。

初めての海外旅行で「日本より治安が悪い」、「チップやトイレにお金が必要」など説明を受け不安な気持ちもありました。でも、大自然と西洋文化にふれて、一生の思い出になったと、今は思っています。



スイス・イタリア/職員研修事業2班

スイスの自然をバックにした「観光立国」にふさわしいおもてなしや自給自足、「地産地消」の取り組みが国をあげて徹底しているそうです。原野と道路沿いが気持ちのよいほど手入れが行き届いていました。イタリアは、建築物や時計台と橋、教会など長い歴史を感じる建物でしたが、余計にマナーの悪さを感じました。

この機会を提供していただきました愛媛県市町村職員互助会並びに互助会同行者さん、添乗員さん、また、研修に参加させていただきました職場の関係者や家族に深く感謝申し上げます。

スイス・イタリア

2班

宇和島市
酒井恵子
一行

初めての海外旅行。以前から主人に誘われてはいましたが、なかなか思いつきませんでした。今回、同僚からは非行くべきだと強くブッシュユされ、退職の記念づくりと思いツアーに参加しました。

最初に、パスポートの申請、松山での説明会、そこで、準備する物の多さとスイスでの高山病の危険性、海外の治安の悪さ等を聞き、気持ちが落ち込みましたが、一生に一度の海外旅行と思い直し準備を進めました。

スイスは、日本との時差が7時間、関西空港からオランダアムステルダムまで約11時間半。初めての長距離飛行でしたが、いつの間にか着いていました。アムステルダムでは、緊張して入国審査と手荷物検査を受けましたが、無事通過。その後、スイスのチューリッヒまで約1時間半のフライトを経て、48時間ぶりにやっとホテルで眠れました。

その後、4日間観光。スイスでは、登山鉄道に乗りアイガー・メシヒ・ユングの山々を、終点のフィンクス展望台では高山病の心配もなく、素晴らしい氷河を見ることができました。首都ベルン、国際都市ジュネーブを観光し、イタリアでは、ミラノ、ヴェロー

ナ、水の都ヴェネツィアの都市を見て異文化のすばらしさに感激しました。見るものすべてが新鮮で、ショッピング、食事、ホテルも日本人観光客に慣れている場所が選定されていて言葉の心配もなく楽しく過ごすことが出来ました。何より天候に恵まれた旅行でした。帰りの飛行機では、主人と来年もどこか行きたいねと話も弾みました。

最後に、今回の旅行のお世話をしていただいた添乗員さん、互助会の同行者さん、事務局の方々、素晴らしい思い出をありがとうございました。

スイス・イタリア

2班

宇和島市
竹田和代
哲郎

あこがれのヨーロッパ旅行。一生テレビや写真の中の景色でしかないと思っていた、雪のアルプスや水の都ヴェネツィアへの旅でした。スフィンクス展望台でユングフラウの頂を間近に、冷たく薄い空気

に触れたり、ゴンドラにゆられて運河を巡っている自分を感じた時は、本当に夢のようでした。

世界遺産ベルンの赤い屋根の街並み。ドゥオーモやサン・マルコ寺院など、息をのむような美しい教会。現地ガイドや添乗員さんの説明を聞きながら、これらを築き、そして何世紀にも渡って守り受継いできたヨーロッパの人々の歴史や文化に感動させられた毎日でした。

そして、八日ぶりに見た日本のすべてが、なんと新鮮だったこと。スイス・イタリアの旅行を終え、日本の風景や文化の素晴らしさにあらためて気付くことが出来ました。身近な伝統や風習、食事、地域の景観など大切に守り、子どもや孫に伝えていきたいいな、と思えた研修旅行になりました。

北海道

3班

四国中央市
佐藤 温美

私は、四国中央市より一人で参加しましたが、他の方々は、ご夫婦

や友達と一緒に参加でした。はじめは心細い思いもしましたが、その思いも皆さんに、声を掛けていただき吹っ飛びました。千歳空港についた頃には雨が降っていて、台風22号の影響もずいぶん心配しましたが、旅行中は晴天に恵まれました。北海道の澄んだ空気・広い大地・山の木々の紅葉・知床の海や野付半島のトドワラなどのなんともいえない風景が素敵でした。



北海道/職員研修事業3班

また、網走監獄歴史館の見学では網走監獄の歴史を知り、胸が痛む思いがしました。しかし、その四人たちが北海道開拓に大きな力となっていたことを、私自身知らなかったもので、勉強になりました。北海道の五日間の旅行は、本当に楽しい思い出となりました。

北海道

3班

宇和島地区広域事務組合
二宮 和徳
早苗

天気予報で台風情報を気にしながら、研修旅行の日になりました。秋晴れの松山空港に到着。参加者の方達と羽田、そして新千歳空港に着いた時には雨が降っていました。夜は雨が降っていても朝になると曇りから晴れと天候に恵まれる日が続きました。知床観光船も乗れる確率が低いと聞いていたけど乗船でき知床の自然を満喫し、摩周湖でも神秘的な水を湛えた姿を見る事ができ感動しました。おみやげ店で品物を選び荷物が増えると同時に美味しい食事に体重も

増えましたが、海の幸、山の幸、牧場の幸に満足しました。また、温泉が素晴らしく、夕、夜、朝と3回の入浴に心も体もリフレッシュ！ 4泊5日の研修が短く感じられた程楽しい毎日でした。

参加者の皆様、事務局様、添乗員様、楽しい旅行にしてもらい本当に有難うございました。

北海道

3班

西条市
柳原 健治
悦子

この度、職員研修旅行（北海道）に妻と二人で参加させていただきました。北の大地、北海道。初日は、台風の影響もあってか雨模様でしたが、空港から宿泊ホテルまでバスで移動するだけだったので特に支障はありませんでした。二日目からはずっと天候に恵まれ、気温も暖かく、これが北海道かと思っただけでした。知床岬、阿寒湖での船上観光では大自然を十分満喫。網走監獄の見学、北海道開拓の歴史は多数の囚人の犠牲の上で

成り立っているのだと思うと、身が引き締まる思いでした。北方領土の国後島も間近に見ることが出来ました。日本固有の領土である国後島。ある芸能人ではないが、「北方領土返還よろしく!」と叫びたくなる思いでした。

今回の旅行に同行された皆様、お世話になりました。旅行中、妻が誕生日を迎え、皆様方が祝福してくださったこと、心より感謝します。楽しい思い出が出来ました。

北海道

3班

西予市

松本 けいこ

北海道を満喫して来ました。

日常生活から離れ、4泊5日とゆつたりとした時間を過ごさせてもらいました。

ただ一つハプニングもありました。初日のハイウェイオアシスでいきなりのバストラブル（ステッブが上がらなくなり）です。代替バスを待つ間だんだんと暗くなりちよっぴり心細く感じました。

しかしその後はすばらしいお天気に恵まれ、雄大な景色とおいしい食べ物に満足でした。車窓から眺める風景は、愛媛とは違う北海道の魅力を肌で感じました。北キツネ牧場やオホーツク流水館、玉ねぎのコンテナの大きさと数、牧草ロール、知床観光船から眺める自然の厳しさや美しさ、摩周湖は雲一つなくすっきりと晴れ渡り、阿寒湖では世界一のマリモ、さけの遡上など初めて見るものばかりで、どれも貴重な思い出になりました。そしてなんとと言っても「カニ」を思いっきりおいしくいただきました。ありがとうございました。

北海道

3班

西予市

家藤 八重子

「最高の思い出に残る北海道旅行」でした。

幸運と好天に恵まれ、雄大な景色と時間の中で、仕事の事は忘れ、正に命の洗濯が出来ました。

層雲峡のそびえ立つ絶壁の景色、マイナスイオンを十分に浴びる事が出来たオシンコシンの滝を始めとする様々な滝、網走監獄囚の悲惨さやオホーツク流水に触れたり、極寒の中、タオルが棒になる体験など、貴重でした。

また、天気にも恵まれ、青々とした摩周湖を見る事が出来、知床岬、トドワラや、ウトロ・阿寒湖の観光船も素晴らしい景色を見せてくれました。野生の北キツネや蝦夷鹿たちにも車窓近くで会う事が出来たり、自然の織り成す美しさに、感動し続けました。

食べ物もおいしく、夜はカラオケ大会など盛り上がり、楽しい思い出溢れる4泊5日でした。これは、事務局の方、添乗員さんの心配り、気配りがあり、バスガイドさん、運転手さん達のおかげだと感謝致しています。

参加者13名と小グループでしたが、皆さんと知り合いになれ、本当に素敵な記念旅行でした。ありがとうございました。

互助会の厚生事業のがん保険のご案内!!

がん保険

がん保険を福利厚生事業の一環として会員の皆様に6月中旬から下旬にかけてご案内いたしております。なお、詳しい内容については、下記にお問い合わせください。

●募集代理店

南海放送サービス(株)

〒790-0811 松山市本町1丁目2番3号

フリーダイヤル (0120)11-1136

●引受保険会社

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)松山支社

〒790-0003 松山市三番町4丁目9番地6 NBF 松山日銀前ビル5F

TEL 089-933-7103

契約内容の照会・各種お問い合わせ コールセンター (0120)-5555-95

共済グループ保険等の 募集結果

平成25年11月から加入・変更となったがん保険については平成25年6月～7月に、平成26年1月から加入・変更となる共済グループ保険については平成25年8月～9月にかけて募集させていただきましたところ、ご多忙中にも拘わりませず、ご理解とご協力をいただいたことにより、募集も順調に進み、多くのご加入をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

今後におきましても、会員の皆様在职中のみならず退職後におきましても安心して生活できるよう少しでもお役に立てる制度にしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

平成26年1月1日現在の加入状況は次のとおりとなっています。



＊ 加 入 状 況 ＊

(平成26年1月1日現在)

		加入者	契約高	月額保険料
がん保険	会 員	2,405 人	—	7,715 千円
共 済 グ ル ー プ 保 険	団体定期保険	組合員	7,331 人	131,706 百万円
		配偶者	1,363 人	6,655 百万円
		子 供	1,311 人	4,274 百万円
		計	10,005 人	142,635 百万円
	ボーナスコース		3,290 人	28,500 百万円
	療養給付プラン		1,864 人	153 百万円
	支 重 援 病 制 克 度 服	組合員	2,389 人	5,091 百万円
		配偶者	341 人	604 百万円
		計	2,730 人	5,695 百万円
	医 療 保 障 保 険	組合員	2,503 人	250 百万円
		配偶者	561 人	56 百万円
		子 供	605 人	60 百万円
		計	3,669 人	366 百万円
積 立 年 金	月 払	一般型	535 人	1,533 口
		個年型	1,017 人	3,203 口
		計	1,552 人	4,736 口

互助会の概況

(平成25年度11月末現在)

・所属所数	42
・会員数	現職会員数 15,089 人 退職会員数 3,725 人
・被扶養者数	17,558 人
・平均給料月額	306,072 円



表 紙 に よ せ て

干支の由来

今年の干支は午で、動物にあてはめると馬になります。
古代中国では方位や時刻を十二支に置き換え表現していました。午の方位は南で、赤道と垂直に交差し北極と南極を結ぶ「子午線」は、北を表す子(ねずみ)と南を表す午(うま)から来たものです。また、午の刻は昼の12時及びその前後を2時間のことをいいます。そのため、昼の12時を「正午」といい、それを中心に「午前」と「午後」という言葉が生まれたといわれています。